

年間授業計画

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 地歴 科目 歴史総合

教科: 地歴

科目: 歴史総合

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 3 学年 A 組

教科担当者: (A組: 奈良 敦史)

使用教科書: (帝国書院『明解 歴史総合』)

使用教材: (ワークシートなど)

教科 地歴

の目標:

【知識及び技能】

歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する

【思考力、判断力、表現力等】

歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う

科目 歴史総合

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識: 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能: 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1部 歴史の扉 1章 歴史と私たち 2章 歴史の特質と資料 2部 近代化と私たち 18 世紀までの世界 序章 近代化への問い	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	・身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解している。 ・身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し、表現している近代化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。 ・資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現している。 ・中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
	1章 江戸時代の日本と結び付く世界 2章 欧米諸国における近代化 3章 近代化の進展と国民国家形成★ 4章 アジア諸国の動揺と日本の開国★ 5章 近代化が進む日本と東アジア	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現している。 ③中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。①16～17世紀にアジア諸国の交易が盛んになった様子を観視し、そのなかで日本が「四つの窓口」による限定的な交易を行ったことを理解している。 ②江戸幕府が貿易を統制した目的について考察し、表現している。江戸時代の日本について、農業が発展し、交通網が整備されたこと、平和で安定した社会のなかで教育が普及し、学問の発達のみみられたことを理解している。 ②江戸時代の社会について、幕末以降の日本の近代化との関連を考察し、表現している。①18世紀における清を中心としたアジアの国際秩序やヨーロッパ諸国との交易について理解している。 ②銀の動きに着目し、清と近隣諸国、ヨーロッパ諸国との交易の特徴について考察し、表現している。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
2 学期	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 序章 国際秩序の変化や大衆化への問い 1章 第一次世界大戦と日本の対応 2章 国際協調と大衆社会の広がり 3章 日本の行方と第二次世界大戦 4章 再出発する世界と日本	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	・市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解している。 ・市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。 ・市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 3章 日本の行方と第二次世界大戦 4章 再出発する世界と日本	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	・明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 ・明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現している。 ・明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○		20
定期考査			○	○		1	
3 学期	4部 グローバル化と私たち 序章 グローバル化への問い 1章 冷戦で揺れる世界と日本 2章 多極化する世界★ 3章 グローバル化のなかの世界と日本	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	・グローバル化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。 ・資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、グローバル化を読み解く問いを表現している。 ・中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。	○	○	○	24
	定期考査						1
	1年間の学習の振り返り	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	・一年間の学習の概略を理解している。 ・一年間の学習を振り返り印象に残ったことを発表できたか。 ・自ら新たな課題を見つけ調べ学習を行ったか。				4 合計
						118	